

(2) 東北



東北地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費は足踏みがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

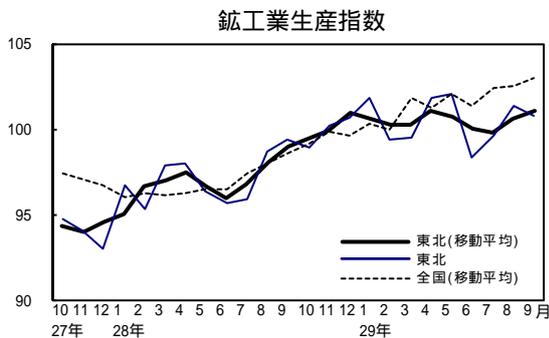
前回調査からの主要変更点

	前回 (平成 29 年 8 月)	今回 (平成 29 年 11 月)	
住宅建設	減少	おおむね横ばい	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。

7 - 9 月期には、電子部品・デバイスは、モス型半導体集積回路(ロジック)、コネクタ等が減少した。はん用・生産用・業務用機械は、海外向け需要の回復等により超硬工具等が増加した。食料品・たばこは、酒類、清涼飲料等が増加した。情報通信機械は、カーナビゲーションシステム等が減少した。輸送機械は、乗用車、シャシー・車体部品等で減少した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

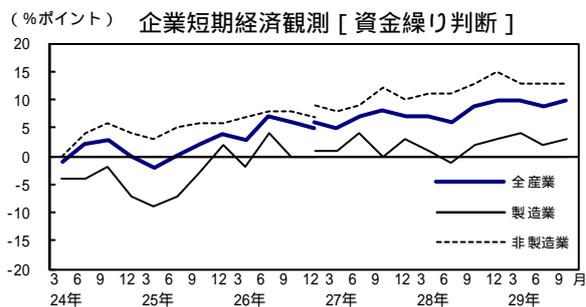
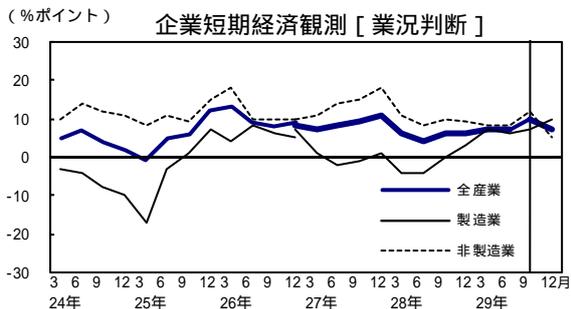
	付加価値 ウェイト	生産				
		4 - 6 月期	7 - 9 月期	7月	8月	9月
電子部品・デバイス	16.9	4.0	1.1	4.5	4.4	1.0
はん用・生産用・業務用機械	14.7	8.8	7.5	10.3	5.7	1.7
食料品・たばこ	10.6	2.9	0.4	2.9	2.1	0.8
情報通信機械	9.2	2.3	1.7	9.3	12.1	3.4
輸送機械	8.3	1.6	2.9	0.2	3.1	0.6
鉱工業	100.0	0.5	0.1	1.2	1.8	0.6

(備考) 1. 22年=100、季節調整値。最新月は速報値。
2. 全国及び東北の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 7 - 9月期、9月は速報値。

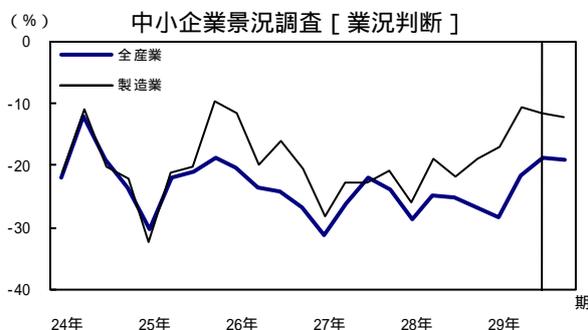
(2) 業況判断は「良い」超幅が拡大し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。29年12月は予測。26年12月は新・旧基準を併記。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。26年12月は新・旧基準を併記。

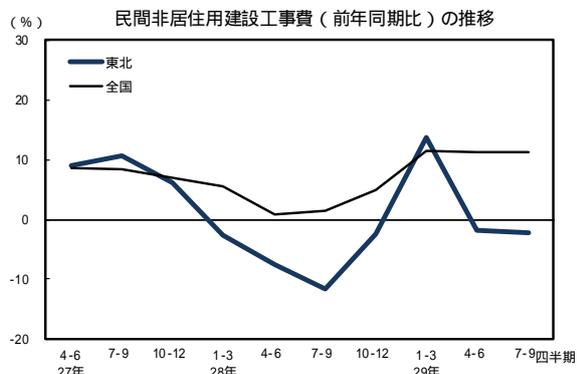


(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。29年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(10月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「4～9月における東北地域の出荷量は、前年比101.7%となっているものの、落ち込みが激しかった前年との比較のため、下げ止まったままで回復はみられていない。老朽化したプラントや設備の更新を控えている工場も多く、さらに、ミキサー車の運転手の募集をしても、オリンピック需要で首都圏に人が取られているのか、なかなか集まらない(窯業・土石製品製造業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は前年に比べて減少している。



企業短期経済観測調査[設備投資(9月調査)]

(前年度比、%)

	28年度実績	29年度推
全産業	15.9	0.9 (0.5)
製造業	22.3	0.3 (0.4)
非製造業	9.3	2.4 (1.5)

(備考) ()は前回(6月)調査比修正率。

(備考) 29年4-6月期以降は国土交通省「建設統計月報」の非居住用建築物工事費予定額を平均工期9.8か月で進捗展開し、その伸び率を基に実績額を延伸。

(2) 東北

2. 需要の動向

(1) 個人消費は足踏みがみられる。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

7月は前月比2.5%増、8月は同2.7%減、9月は同0.0%減となった。

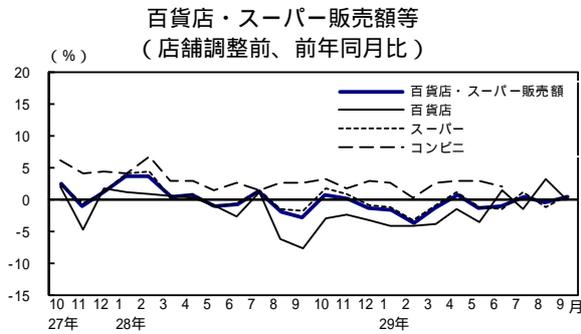
百貨店・スーパー販売額

百貨店は、7月は、衣料品が前月にクリアランスセール開始を前倒した影響などから振るわなかったことに加え、飲食料品は、鮮魚や菓子の不振などから前年を下回った。8月は、衣料品で紳士カジュアル衣料や婦人ブラウスなどの秋物衣料に動きがみられたことに加え、化粧品が好調で、高級時計や美術品などの高額品にも動きがみられたことから、前年を上回った。9月は、身の回り品で婦人靴などがふるわず、飲食料品では、一部店舗の売場面積縮小などの影響があったことから、前年をわずかに下回った。

スーパーは、7-9月期は、衣料品は前年を下回ったものの、飲食料品は前年を上回った。

景気ウォッチャー調査 (10月調査結果) [家計動向関連 (現状)]

「特に販売量の動きが活発であり、前年比約102%となっている。医薬品、化粧品の好調は相変わらずであるが、更に生活にすぐに必要ではないバッグなどの雑貨類の売行きが良い (一般小売店 [医薬品])」など「やや良くなっている」とする回答が増加した。

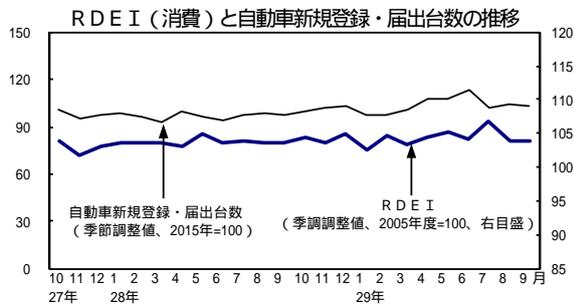


	29年7-9月	29年7月	8月	9月
RDEI (消費*1)	0.3	2.5	2.7	0.0
百貨店・スーパー(*2)	0.1	0.5	0.5	0.3
百貨店(*2)	0.4	1.5	3.3	0.1
スーパー(*2)	0.1	1.0	1.1	0.4
コンビニ(*2)	1.0	3.1	0.6	0.6
乗用車(*3)	4.9	5.0	5.2	4.5
(季節調整値)(*3)	5.6	9.5	1.8	0.7

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

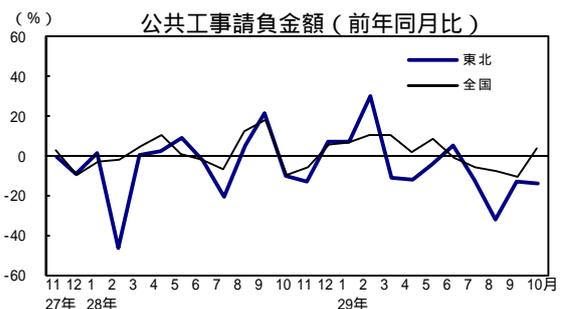
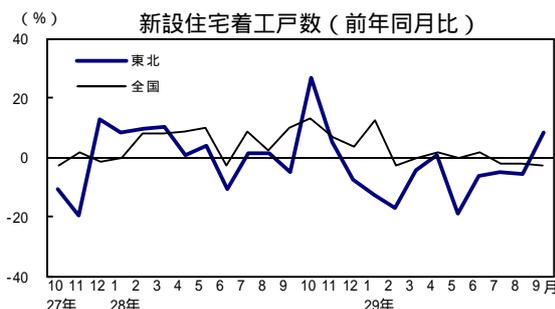
3. 乗用車は、新規登録・届出台数 上段は前年同期(月)比 (%)



(2) 住宅建設は前年に比べておおむね横ばいとなっている。

持家、貸家が前年を下回ったものの、分譲が上回ったことから、全体ではおおむね横ばいとなっている。

(3) 公共投資は29年度累計で見ると前年度を下回っている。

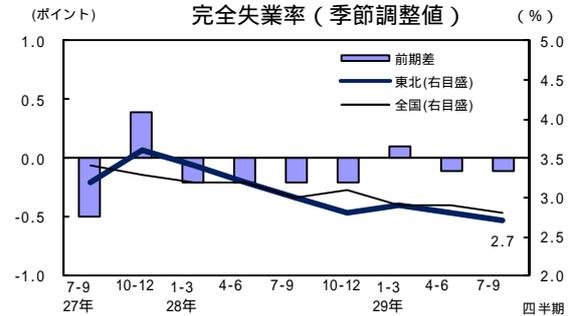
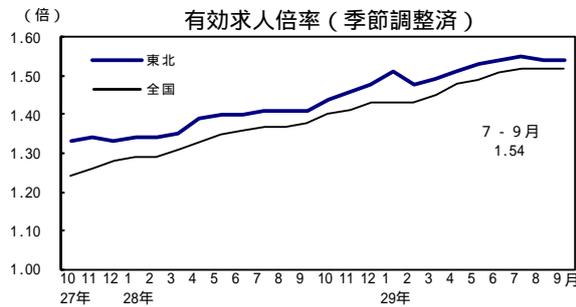


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を下回っている。



景気ウォッチャー調査 (10月調査結果)[雇用関連(現状)]

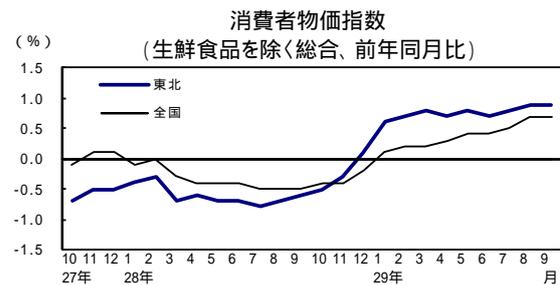
「人手不足の状況に変化はない。募集は続いており、また、退職者を出さない努力も続いている(職業安定所)」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は前年に比べて件数は増加しているものの、負債総額は減少している。

(3) 消費者物価指数は前年比の上昇幅が拡大している。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	28年10-12月	29年1-3月	4-6月	7-9月	29年10月
倒産件数	90	69	82	82	22
(前年比)	11.1	20.7	10.9	3.8	37.1
負債総額	174	150	126	136	54
(前年比)	34.2	16.0	37.5	24.7	65.3



景気ウォッチャー調査 (10月調査結果)[合計(特徴的な判断理由)]

<現状>

・スーツ、礼服などの重衣料を購入する客や、単価を気にしないで購入する客の割合が増えている。出張や結婚式を機会に服の購入をしようとする気運が、消費行動のなかに表われている(衣料品専門店)。

<先行き>

・年末にかけて製造業の求人が増加傾向にある(民間職業紹介機関)。

景気ウォッチャー調査 (季節調整値)

